

# 地震・津波編

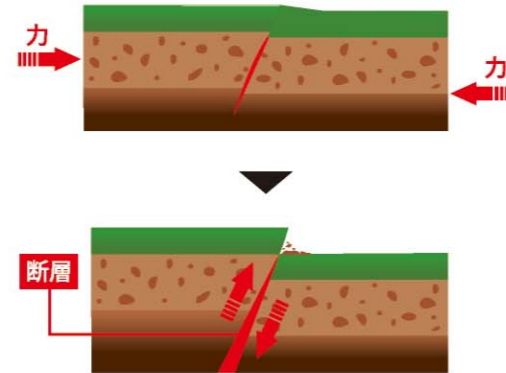
## 地震・津波について知る

### 地震の種類

地震には活断層で発生する内陸型地震や、プレート同士の境目付近でおこる海溝型地震があります。

過去に繰り返し地震を起こし、将来も地震を起こすと考えられる断層を「活断層」と言います。平成28年（2016年）の熊本地震も、活断層の動きによって発生した地震です。

地震による揺れの強さは、地震の規模、断層からの距離に加えて、地盤のやわらかさやその厚さなどによって大きく変わります。川沿いなど、土や砂が厚く堆積した場所で地震の揺れが増幅しやすい傾向にあります。



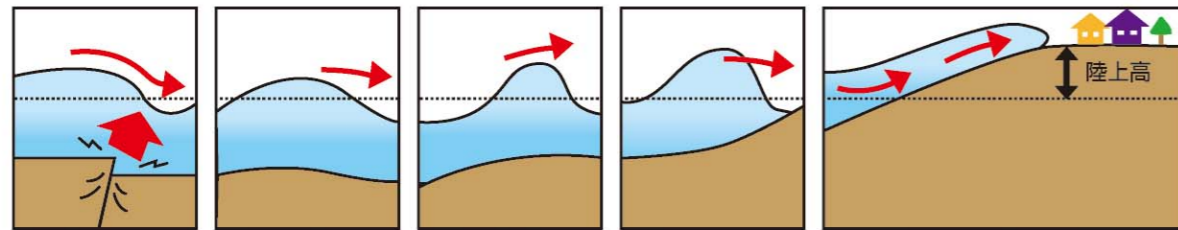
長い年月をかけて地下の岩盤に力加わり、限界に達した時、岩盤が「断層」を境に急速に動きまわります。こうして地震が発生します。

### 津波はどのように襲ってくるのか

海底下で大きな地震が発生すると、断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し、大きな波となって四方八方に伝播するものが津波です。

「津波の前には必ず潮が引く」という言い伝えがありますが、必ずしもそうではありません。

地震を発生させた地下の断層の傾きや方向によっては、また、津波が発生した場所と海岸との位置関係によっては、潮が引くことなく最初に大きな波が海岸に押し寄せる場合もあります。津波は引き波で始まるとは限りません。



①地震による海底面の隆起沈降が、海水の上下変動を起こす。  
②波となって四方に伝わる。  
③水深が浅くなるに従って波が高くなる。  
④さらに海底の地形の影響で波が高くなる。  
⑤陸上へ打ち上げる。

### 緊急地震速報

緊急地震速報は、地震が発生してから強い揺れが襲来するまでのごく短い時間を活用して、地震による被害を軽減しようとする情報です。緊急地震速報が鳴ったら「周囲の状況に応じて、あわてずにまず身の安全を確保する。」

気象庁は、最大震度5弱以上が予想された場合で、震度4以上の揺れが予想される地域に対して緊急地震速報（警報）を発表します。地震速報は、以下の方法で専用の報知音とともに伝えられます。

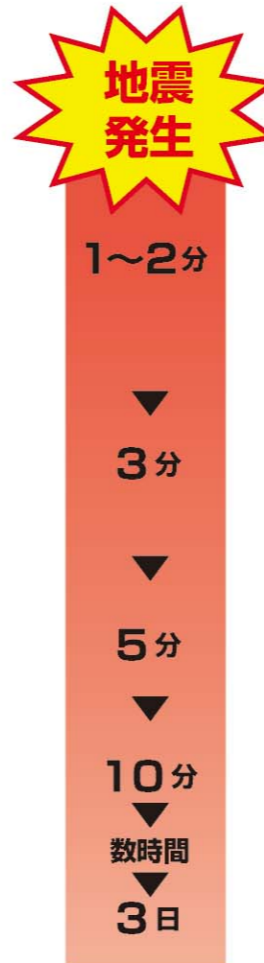


震源に近い地域では、緊急地震速報の発表が強い揺れに間に合わないことがあります。

# 地震・津波に備える

## 地震発生から避難後までの行動マニュアル

地震は突然発生するので日ごろの備えが大切です。大きな地震が発生したら「慌てずに身の安全を確保」、「安全なところに移動」、「より安全なところに避難」



### 最初の大きな揺れは約1分間

- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する。
- あわてて外へ飛び出さない。
- 大きな揺れの場合は、揺れがおさまってから火の始末をする。



### 揺れがおさまったら

- 火元を確認、火が出たら落ち着いて初期消火する。
- 家族の安全を確認、倒れた家具の下敷きになっていないかを確認。
- 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく。
- 避難するときは、屋根瓦等の転落やブロック塀・自動販売機等の転倒に注意する。
- 仕事やレジャーで海岸部に滞在している場合、直ちに高台へ避難する。



### みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- 隣近所に声をかけよう**
  - 災害弱者の安全確保、隣近所で助け合う。
  - 行方不明者はいないか。
  - けが人はいないか。
- 出火防止 初期消火**
  - 初期消火、消火器を使う。バケツリレー、風呂の水はためておく。
  - 漏電・ガス漏れに注意。
  - 電気のブレーカーを下げる・ガスの元栓を閉める。

### 協力して消火活動、救出・救護活動

- 大声で知らせる。
- 救出・救護をする。
- 防災機関、自主防災組織の情報を確認する。
- デマにまどわされないようにする。
- 避難時に車は極力使わない。
- 電話は緊急連絡を優先する。



### ラジオ等で正しい情報を得る

- 水、食料は蓄えているものでまかなう。3日間の飲料水と食料の準備をしておく。
- 災害・被害情報を収集する。
- 無理はやめよう。
- 助け合いの心が大切。
- 壊れた家に入らない。

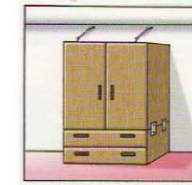


## 転倒防止対策をしましょう

家具の転倒・落下を防ぐポイント

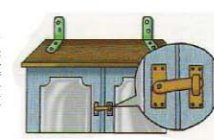
### タンス・本棚

L字金具や鎖・ベルトなどで固定する。二段重ねの場合は、つなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



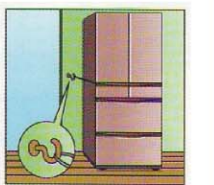
### 食器棚

L字金具や鎖・ベルトなどで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。



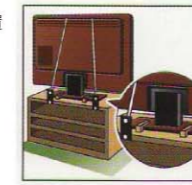
### 冷蔵庫

2ドアの場合は、扉と扉の間に針金を巻いて、金具で壁に固定する。



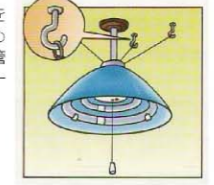
### テレビ

できるだけ低い位置に固定しておく。家具の上は避ける。



### 照明器具

チェーンと金具を使って数ヶ所止め。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで留めておく。



### ピアノ

本体にナイロンロープなどを巻き付け、取り付け金具などで固定する。脚には滑り止めをつける。

